



2023年1月5日

日本鉄道労働組合連合会

第 21 回青年女性役員研修会を開催！

JR連合は12月16日～17日の2日間、東京都内で「第21回青年女性役員研修会」を開催し、全国各地から総勢35名の受講生が参加した。

1日目 航空連合組合員との意見交換を行い、共通する課題を共有！

1日目は、3産別共同行動で連携を図っている航空連合から、松本一彦副事務局長、又吉謙副事務局長をはじめ7名の組合役員に参加いただいた。はじめに、森安祐貴産業政策局長から政策活動、相良夏樹組織・政治局長から政治活動および組織課題に関する講義を行い、JR産業の現状と課題解決に向けた取り組みへの理解を深めた。

続いて、産別の研修会ならではの幅広い見識を得るべく、航空連合の皆さんとともにグループに分かれて意見交換を行った。冒頭、航空連合の取り組みや働く仲間の職種についてご紹介いただき、その後、組合活動を行うにあたっての悩みや次代を担う役員育成など、共通する課題を共有し、相互に理解を深め合った。



参加者は航空連合のみなさんと横の繋がりを深めた

2日目 魅力あるJR産業をつくるために必要なことは何か？

2日目は、荻山市朗会長を講師に迎え、「JR連合結成30周年を超えて持続的成長を築くために」と題し、10月に開催された30周年記念シンポジウムにおける問題提起を基調に特別講義を行った。

その後のグループディスカッションでは、「長く働き続けられる、魅力ある産業にするために必要なこと」や「青年女性役員・組合員としてできること」について、2日間の研修を通じて気づいたことや考えたことを話し合い、発表を行った。



荻山会長による特別講義



ディスカッションでは様々な意見が飛び交った

研修会を終え、参加者からは「産別や単組の枠を超えた横の繋がりをつくることのできた」、「もっと多くの仲間にも参加してほしいと思った」等の感想があった。

JR連合は、持続可能で将来展望の持てるJR産業をつくるべく、次代を担う青年女性組合員の活動を積極的に後押しする。